

# 2017年3月期第3四半期決算説明



2017年2月6日

山一電機株式会社

(証券コード 6941)



11月1日に創立60周年を迎えました。

これもひとえに

皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

## ◆ ご説明内容

【1】 F Y 2016 / 3Q 業績結果について

【2】 F Y 2016 通期業績見通しについて

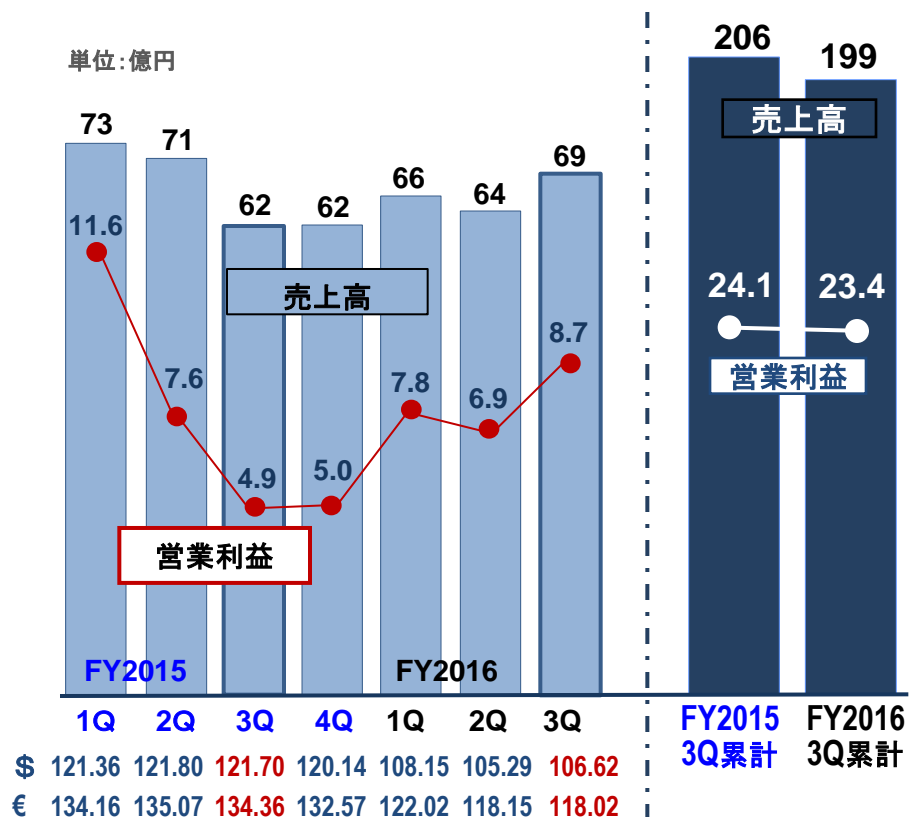
【3】 中期経営計画の進捗について

# FY2016/3Q業績結果について

円高の影響を受けたが、3Qの増益により前期並みの収益を確保

FY2015 / 3Q比で

1US \$ 15.08円(13.6%)の円高  
1€ 16.34円(12.5%)の円高



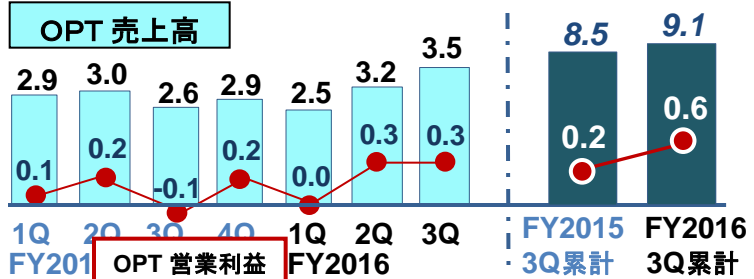
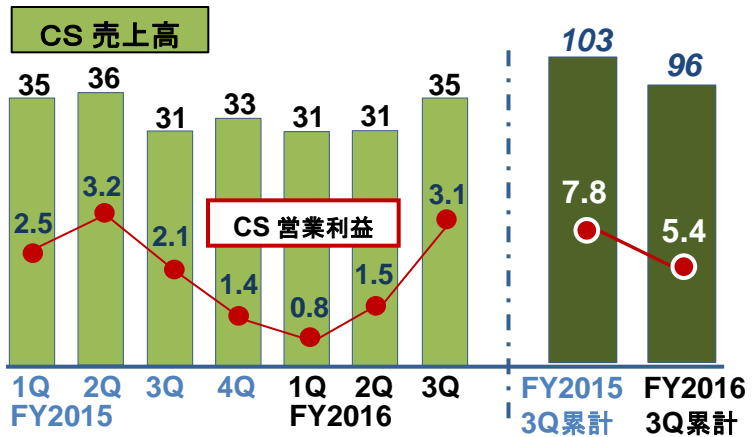
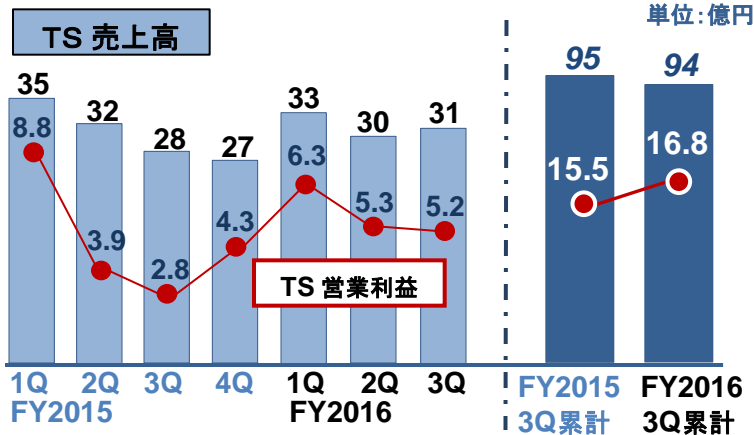
単位: 億円

	FY2015 3Q	FY2016 3Q	前同期比
売上高	205.7	199.3	△3.1%
売上総利益	71.4	63.6	△10.8%
販売管理費	47.2	40.3	△14.8%
営業利益	24.1	23.4	△3.2%
営業外損益	0.6	(注1) △0.1	—
経常利益	24.8	23.3	△5.9%
特別損益	△2.7	0.0	—
当期純利益	16.5	16.5	△0.3%
EPS (円)	70.92	74.97	+4.05
BPS (円)	762.10	837.83	+75.73
ROE (%)	9.5	9.3	△0.2

(注1) 為替差益 0.2億円(FY2016/2Q:△1.0億円、FY2015/3Q:0.1億円)

# FY2016/3Q事業別業績結果について

TS:増益確保 CS:円高や売価調整で減益 OPT:収益改善



- ◆TS:円高の影響を受けるが、車載半導体向けバーンインソケットが順調に推移、テストソケットも拡販でき、増益確保
- ◆CS:通信・車載用途向けが堅調であったが、円高や売価調整による影響および中国工場整理に伴う費用などをカバー出来ず
- ◆OPT:医療・通信機器向けフィルタが堅調、増収と原価低減で収益改善

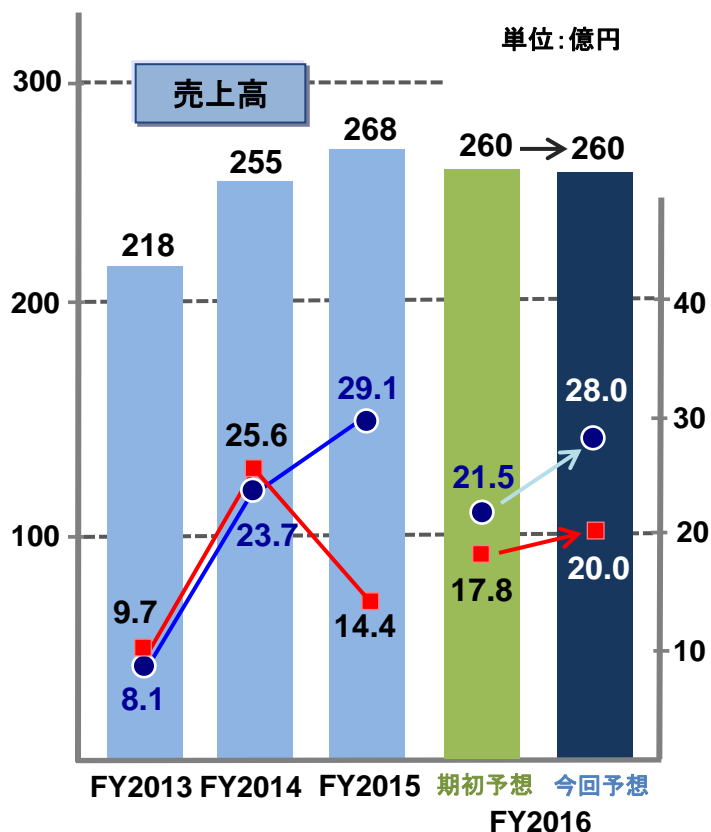
単位:億円

		FY2015	FY2016	前年同期比
		3Q	3Q	
TS事業	売上高	94.7	93.8	△1.0%
	営業利益	15.5	16.8	8.1%
CS事業	売上高	102.5	96.4	△5.9%
	営業利益	7.8	5.4	△30.4%
OPT事業	売上高	8.5	9.1	6.6%
	営業利益	0.2	0.6	189.0%
Other	営業利益	0.6	0.6	—
Total	売上高	205.7	199.3	△3.1%
	営業利益	24.1	23.4	△3.2%

◇3Q実績を踏まえ通期予想を修正

※ 4Q 為替レート 1US\$ = 110円 1€ = 120円

● 営業利益  
■ 当期利益

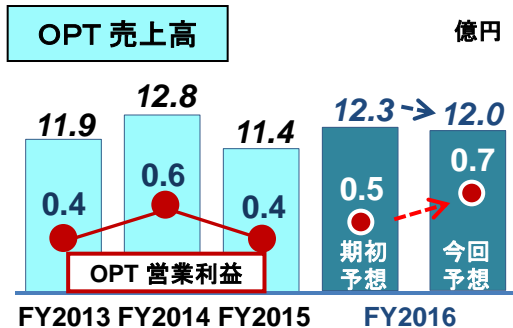
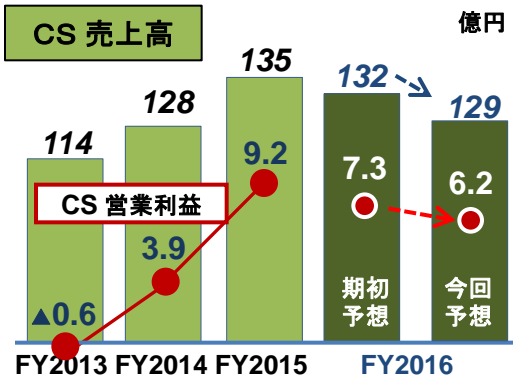
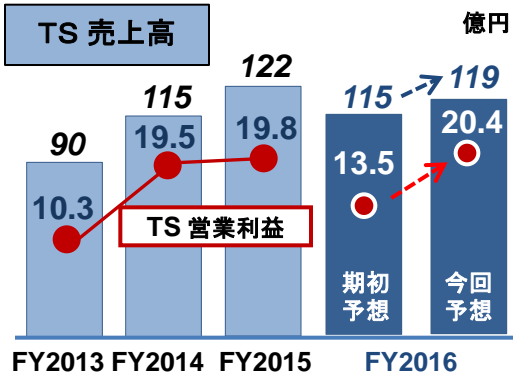


単位: 億円

	FY2016 2H 期初予想	FY2016 2H 今回予想	予想比	FY2016 通期 期初予想	FY2016 通期 今回予想	予想比
売上高	124.6	130.0	+5.4 +4.3%	260.0	260.0	0.0 0.0%
営業利益	9.7	13.3	+3.6 +37.1%	21.5	28.0	+6.5 +30.2%
経常利益	9.6	14.6	+5.0 +52.1%	21.3	28.0	+6.7 +31.5%
当期純利益	8.1	10.1	+2.0 +24.7%	17.8	20.0	+2.2 +12.4%
EPS (円)	36.81	46.17	+9.36	81.36	91.42	+10.06

## 厳しい状況が継続すると予想

- ◆TS: 堅調と見込むがメモリー関係製品の動向で変化もあり
- ◆CS: 通信インフラ・車載向けコネクタは堅調と見込むが価格動向懸念
- ◆OPT: 医療機器・光通信向けフィルタ製品は引き続き堅調と見込む



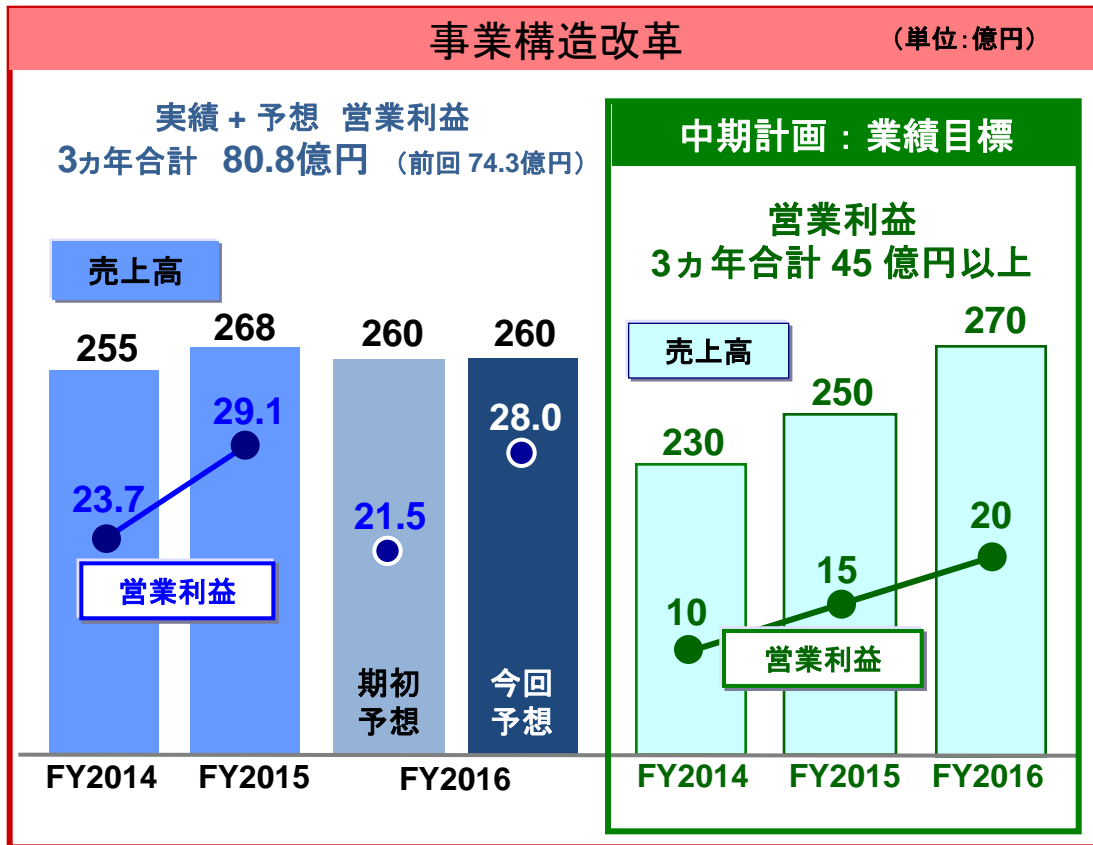
単位: 億円

		FY2016 2H 期初予想	FY2016 2H 今回予想	期初 予想比	FY2016 通期 期初予想	FY2016 通期 今回予想	期初 予想比
TS事業	売上高	49.2	56.0	+6.8 +13.8%	115.4	119.0	+3.6 +3.1%
	営業利益	4.2	8.8	+4.6 +109.5%	13.5	20.4	+6.9 +51.1%
CS事業	売上高	68.8	67.6	△1.2 △1.7%	132.3	129.0	△3.3 △2.5%
	営業利益	4.9	3.9	△1.0 △20.4%	7.3	6.2	△1.1 △15.1%
OPT事業	売上高	6.6	6.4	△0.2 △3.0%	12.3	12.0	△0.3 △2.4%
	営業利益	0.5	0.4	△0.1 △20.0%	0.5	0.7	+0.2 +40.0%

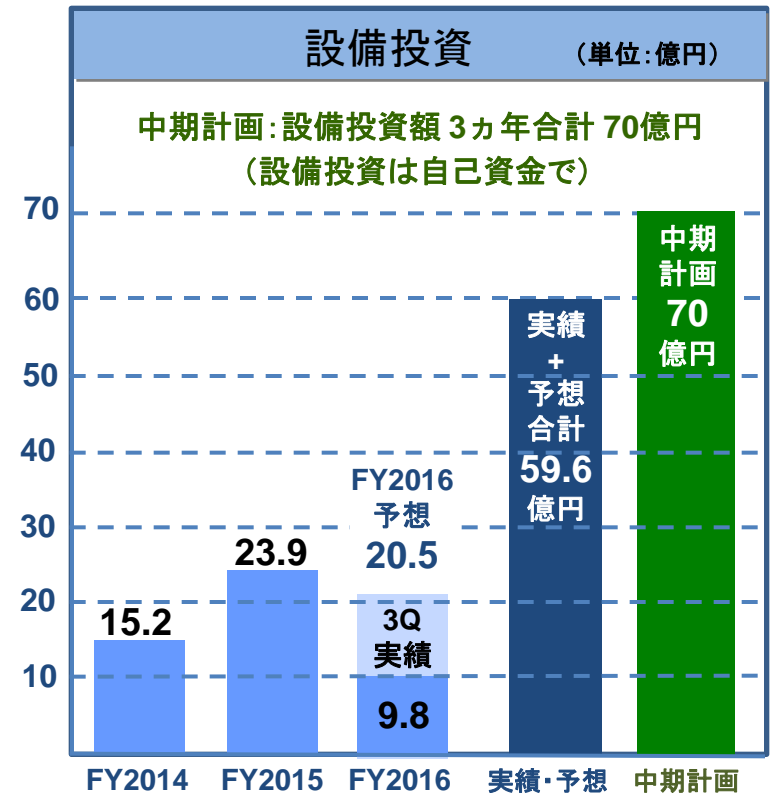
# 中期経営計画の進捗について

営業利益 80.8億円(80%増)、設備投資 59.6億円(15%減)の予想

◇ 目標 連結営業利益3ヵ年合計 **45億円以上** 設備投資額3ヵ年合計 **70億円**



※中期計画の為替レート  
1\$ = 105円



	FY2014	FY2015	FY2016/3Q
減価償却費	14.4億円	16.6億円	11.9億円 (FY2015/3Q: 11.8億円)
研究開発費	13.4億円	14.8億円	12.4億円 (FY2015/3Q: 11.4億円)

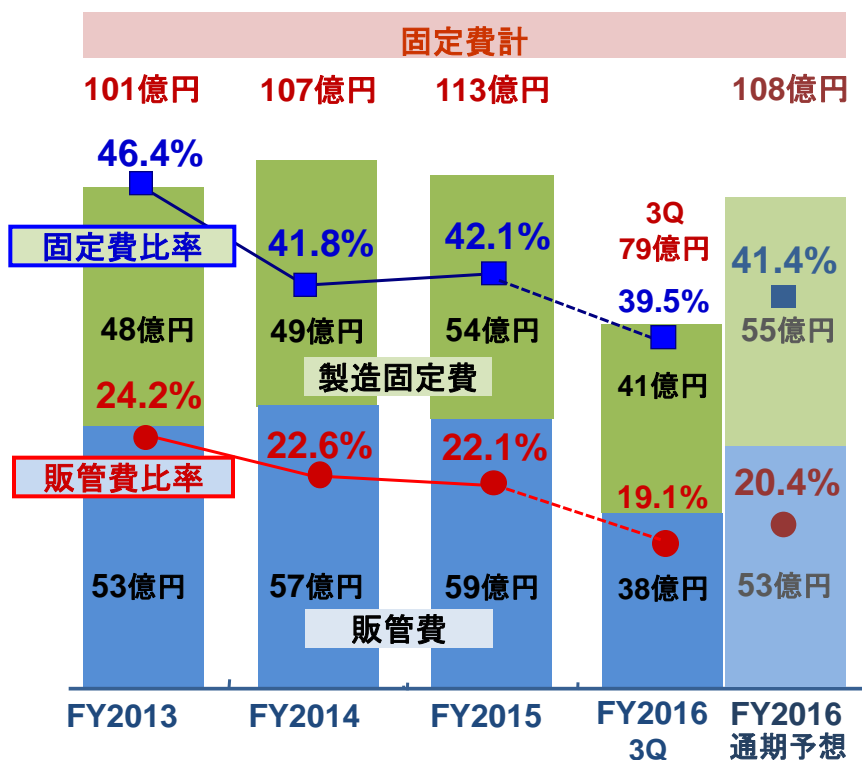
# 財務体質の強化

## 財務体質がさらに改善

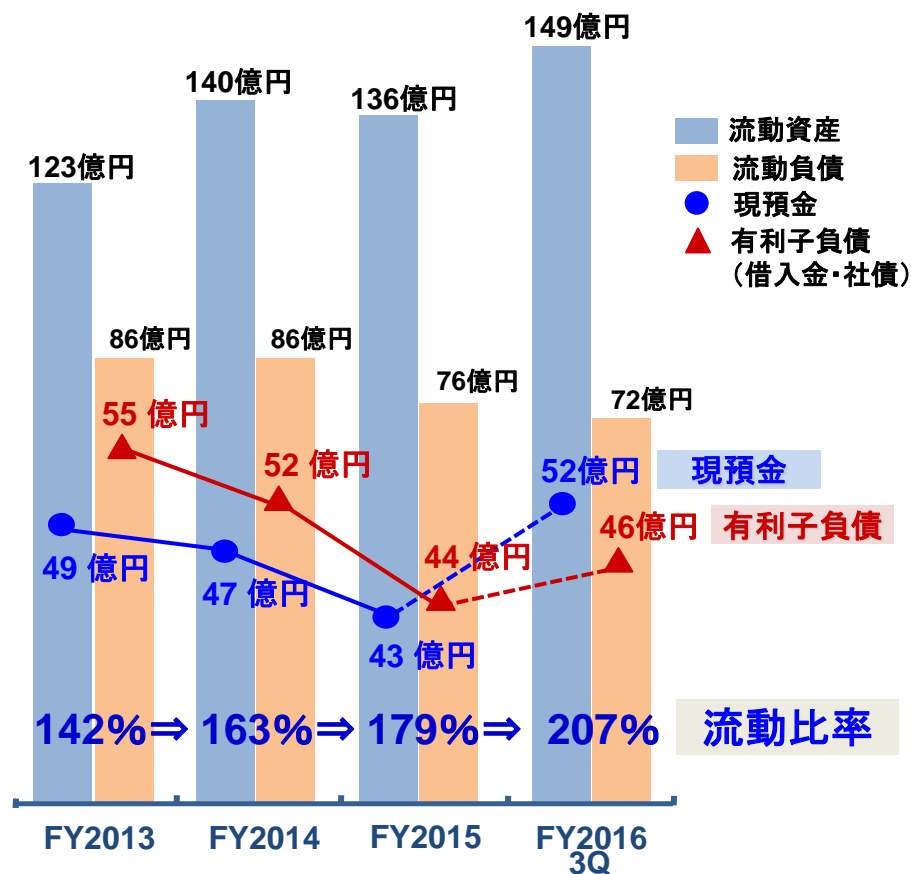
固定費比率 前期末比 2.6 ポイント低下

販管費比率 前期末比 3.0 ポイント低下

	FY2015/3Q	FY2016/3Q	
固定費	8.4 億円	7.9 億円	5 億円減
製造固定費	3.9 億円	4.1 億円	2 億円増
販管費	4.5 億円	3.8 億円	7 億円減



現預金 52億円 > 借入金+社債 46億円





# 中期計画期間の業績推移

## 事業構造改革の推進で P/L・BSの改善進む

単位:億円

		FY2013	FY2014	FY2015	FY2016 予想	FY2013 FY2016 対比
売上高	全体	218	254	268	260	+19%
	TS	90	115	122	119	+32%
	CS	114	128	135	129	+13%
	OPT	12	13	11	12	0%
営業利益	全体	8.1	23.7	29.1	28.0	3.5倍
	TS	10.3	19.5	19.8	20.4	2倍
	CS	▲0.6	3.9	9.2	6.5	黒転
	OPT	0.4	0.6	0.4	0.7	+75%
経常利益		12.9	25.3	26.0	28.0	2倍
当期純利益		9.7	25.6	14.4	20.0	2倍
EPS(円)		41.65	109.90	61.95	91.42	+49円
ROE(%)		7.2	16.9	8.5	3Q 実績 9.3	+2.1P
配当(円)		5	15	15	20	+15円

単位:億円

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016 3Q	FY2013 FY16/3Q 対比
総資産	236	271	261	275	+17%
現預金	49	47	43	52	+3
有利子負債	55	52	44	46	▲9
純資産	135	168	172	181	+34%
BPS(円)	578	720	762	837	+259
自己資本比率	57%	62%	66%	66%	+9P
固定費	101	107	113	79	▲22
固定費比率	46%	42%	42%	40%	▲6P
販管費	53	57	59	38	▲15
販管費比率	24%	23%	22%	19%	▲5P
設備投資	22	15	24	10	—
従業員数(人)	2,227	2,059	1,567	1,441	▲786
臨時雇用(人)	308	517	969	980	+672
BEP	202 (92.7%)	208 (81.9%)	213 (79.5%)	154 (77.4%)	— ▲15.3P



期末配当金は、創立60周年を記念し  
普通配当15円に記念配当5円を加え、1株当たり20円の配当予想としました。

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016予想
1株当たり配当金	5円	15円	15円	20円 〔普通配当15円〕 〔記念配当 5円〕



ご清聴ありがとうございました。

問合せ先: 経営管理部広報課 笹川康彦

TEL: 03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: [sasagawa@yamaichi.co.jp](mailto:sasagawa@yamaichi.co.jp)

**※注意事項**

本資料は、2017年2月3日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。